

気候変動 2007： 気候変動の緩和

AR4 の WGIII 骨子案

政策決定者向け要約

技術的要約（テクニカルサマリー）

パート A 導入および枠組

第 1 章 導入

- 条約第 2 条と緩和
- 過去、現在、未来についての知見、これまでの IPCC 報告書を含む
- 時間軸
- 報告書の構成、その背景となる合理性と横断的課題の役割と枠組み

第 2 章 枠組み

- 地球規模気候変化問題の範囲
- 気候変化の緩和及び持続的成長
- 緩和、脆弱性と適応の関係
- 地域的分析
- 技術の研究、開発、導入、普及、移転
- リスクと不確実性
- 分配と公平性の観点
- コストと便益の概念
- 意志決定と履行

パート B、C、D の各章において、文献が利用可能な限り、地域的な差異を強調する。しかし地域分けは、分野毎に異なる可能性があり、また開発レベル、国情または地理的な区域といった多様な特性に基づく可能性がある。

パート B 長期的な視点での緩和問題

第 3 章 長期的な視点での緩和問題

要約

- 排出シナリオ：SRES 以後の新規文献評価
- 複数のガスを含む、緩和と安定化シナリオ、戦略、およびコストと社会経済的な影響（適切な不確実性分析を含む）
- 発展の道筋、傾向、目標
- 長期的な緩和と安定化へ向けた技術の役割：研究、開発、導入、普及、移転
- 気候変化の影響および長期的な不確実性の下での意志決定という観点から見た、緩和と適応の相互作用
- 意志決定上の惰性、リスク、不確実性の影響を含む、短中期的緩和と長期的安定化の関連

パート C 短中期的に見た、具体的な緩和措置

第 4 章から第 6 章の章立ては以下のとおり。ただし、こういった章立ては、関連性がある場合のみ、および文献がある場合のみ、組み入れられる。

要約

- 導入
- 各分野の現状、生産と消費を含めた発展の傾向とその関係
- 排出の傾向（地球的、地域的）
- 緩和技術と実践方法、オプションとそのポテンシャル（技術的、経済的、市場、社会的）、コスト、および持続可能性の説明と評価
- 緩和措置と脆弱性、適応との相互作用
- 気候政策の効果と経験、ポテンシャル、障害と機会 / 実施問題
- 温室効果ガス排出に影響する非気候政策との統合
- 温室効果ガス緩和政策の共同便益
- 技術の研究、開発、導入、普及、移転
- 長期的見通し / システムの移行、意志決定、惰性と長期的・短期的な選択肢との関係、意志決定ツール

第 4 章 エネルギー供給

第 5 章 輸送と輸送インフラ（道路、鉄道、航空、船舶、そして輸送用燃料を含む）

第 6 章 住居 / 商業（サービス業を含む）

第7章 産業

第8章 農業（土地利用、生物的炭素隔離を含む）

第9章 林業（土地利用、生物的炭素隔離を含む）

第10章 廃棄物処理

パートD 分野横断的、国内、そして国際的な観点

第11章 分野横断的な観点からみた緩和措置

要約

- 導入：システムの見地、3章との関係、分野横断的な主要課題、モデル/分析研究の利用を含む
- 分野横断的な緩和措置：記述、特徴、コスト
- 技術の研究、開発、導入、普及、移転
- 他の政策とのシナジーおよびトレードオフ
- 全体的な緩和ポテンシャルとコスト、ポートフォリオ分析および分野横断モデル化を含む
- マクロ経済的な影響
- スピルオーバー効果
- ボトムアップとトップダウンアプローチの評価
- 緩和と適応のシナジーおよびトレードオフ

第12章 持続的成長と緩和

要約

- 導入
- 緩和政策が持続的成長目標におよぼす影響
- 持続的成長政策が気候変化緩和におよぼす影響
- 緩和能力の決定要因（WGIIでの適応能力とのリンク）
- 持続的成長と気候変化緩和 問題と機会

第13章 政策、手法、協力努力

要約

- 経済的、その他一般的な政策手法（税金、排出量取引を含む）

- 政策の履行と相互作用
- 気候変動関連条約と他のアレンジメント（国際協力、および他の政府間アレンジメントでの識見ならびにその相互作用を含む）
- 民間、地方、および非政府イニシアティブでの識見ならびに相互作用

執筆者および査読者リスト

用語集

インデックス